

脳 卒 中 は 二 度 死 ぬ

さむら脳神経クリニック 佐 村 博 史 (4 期 生)



私は4期生の佐村博史と申します。2010年2月4日に宜野湾市嘉数で『さむら脳神経クリニック』を開業しました。

私共脳外科医、特に外来診療がメインのクリニックにおいては、頭痛やめまいなど一般的な症状を訴える患者さんの中に隠れている脳腫瘍や脳動脈瘤などの命にかかわる重大な疾患を見つけ出すコトの重要性は言うまでもありませんが、脳梗塞の予防も大切な責務の一つです。

日本人の死因のトップは、皆様ご存じの「癌」ですが、一口に癌と言っても肺癌もあれば胃癌もありますし、私がガンマナイフで治療した転移性脳腫瘍の患者さんの原発巣を分類しますと、30種類以上にものぼるのであります。つまり日本人の死因のトップにランクされている「癌」は肺癌や胃癌や腎癌や肝臓癌など多種多様な癌で亡くなった方の総計であって、それを全部バラバラにして単独疾患として考えれば、それぞれの癌のランキングはかなり下がっていくと思われます。

このように単独臓器の疾患として考えた場合、日本人の死因のトップランカーは、皆様驚くなかれ「脳梗塞」なのであります。これに続く心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患を加えると、4人に1人は脳梗塞と虚血性心疾患で亡くなるわけですから、日本人は血管がつまる病気で死ぬ確率がダントツなのです。「統計を無視して何を言う！」とお叱りの声が聞こえてきそうですが、確かに厚生労働省の統計をみると単独疾患としては「肺炎」が

トップのような気もしますが、脳梗塞で寝たきりの患者さんの場合最後は肺炎で亡くなりますので、個人的には「肺炎」の中には統計に反映されない「脳梗塞」が多数隠れているのではないかと考えています。こういう方は、脳梗塞にさえならなければ、肺炎で亡くなることもなかったはずなのであります。

話はそれでしたが、我々脳外科医にとって、日本人の死因の絶対王者とも言うべき「脳梗塞」の発症をどのようにして抑制していくかは、最も重要な社会的責務と言っても過言ではありません！また、脳梗塞の予防、つまり危険因子の管理を厳密に行うことが、心筋梗塞や狭心症などの予防にも繋がっていくのです。

脳梗塞を含む脳卒中の恐ろしい点は、007じゃありませんが2度死ぬってコトです。1回目は重篤な発作により訪れる社会的な死。そして何年もの寝たきり生活の後、本当の死とも言うべき肉体の死がやってきます。医学が進歩した今の世の中では、変な話ですが寝たきりになったからってそう簡単には死なせて貰えませんぞ！

あたしゃ死ぬのは1回で沢山。2度死ぬなんてまっぴらゴメンですので、死ぬまで生き続けます。2回死ぬのがイヤな方、読み終わった瞬間からタバコはやめましょう！

脅かすわけじゃありませんが、肉体が死ぬ前にもう1回死ぬことになりますよ。